＜様式1＞　管理運営状況評価書
【対象年度：令和2年度】　（　④社会体育施設　）

は選択入力項目　　は自動計算のため入力不要

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施設名	東遠カルチャーパーク総合体育館	担当課名	文化・スポーツ振興課	記入者職氏名	主任　戸塚　昭吾

区分		内容　・　説明	
1　施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市スポーツ施設条例	
	(2)施設設置目的	スポーツの振興を図るとともに、市民（東遠圏域）の健康及び体力を増進させるため	
	(3)施設が有する設備、機能の概要	アリーナ（66m×37m）、観客席（1,008席）、車椅子席（40席）、武道場（33m×20m）、弓道場（遠的3人立、近的9人立）、研修室（72人収容）、プール（25m×6コース）、トレーニング室、スタジオ、ランニング・ウォーキングコース（1週230m）、託児室、駐車場（最大480台）	
	(4)施設建設年度	平成15年度	
	(5)耐震性能の有無	有	
	(6)将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	アリーナ空調設置工事（R5、3億円）	館内エアコン更新（R8、72,120千円）
		真空式温水ヒーター更新（2基）（R4、38,100千円）	照明制御装置更新（R9、22,330千円）
		中央監視装置更新（R6、35,800千円）	
		冷温水発生器（R7、50,500千円）	
	(7)指定管理者名	掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体	
	(8)指定期間	平成29年4月1日　から　令和9年3月31日　まで	
	(9)債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし　※設定ありの場合、（期間　平成29年度～令和8年度）（限度額1,723,534千円）（12施設契約）	
	(10)施設の管理運営形態	③指定管理料＋利用料金併用制度	
	(11)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(12)その他事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(14)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合、（直近の実施年度　平成30年度）	

区分				H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数		（目標値）	322,640	330,440	330,440	300,300	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
			（実績値）	262,126	286,054	204,061		
	内訳（施設・設備ごと）	①トレーニングルーム		63,346	59,236	27,661		
		②スタジオ		24,818	26,000	22,102		
		③プール		49,903	65,416	58,045		
		④アリーナ		55,987	63,720	48,397		
		⑤弓道場		7,002	6,512	4,282		
		⑥武道場		19,278	21,507	17,756		
		⑦研修室		12,242	11,965	7,298		
		⑧その他（託児等）		29,550	31,698	18,520		
	(2)稼働率（利用率）							↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・設備ごと）	①トレーニングルーム（定員46人）	A平日昼間	80.1%	80.6%	44.2%		※算出式：利用者数÷営業日数÷4.5回転÷46人
			B平日夜間	87.4%	86.3%	14.3%		
			C土日祝昼間	79.5%	77.5%	37.4%		
			D土日祝夜間	46.7%	49.7%	3.6%		
		②スタジオ（定員30人）	A平日昼間	90.9%	90.3%	74.3%		（昼間）利用コマ数÷（利用可能コマ数×営業日数） （夜間）利用コマ数÷（利用可能コマ数×営業日数）
			B平日夜間	96.5%	95.9%	80.7%		
			C土日祝昼間	54.8%	55.4%	56.8%		
			D土日祝夜間	60.7%	64.3%	55.3%		
		③プール（定員35人）	A平日昼間	128.8%	132.4%	143.8%		※算出式：利用者数÷営業日数÷4.5回転÷35人
			B平日夜間	84.6%	86.9%	19.2%		
			C土日祝昼間	111.1%	116.8%	90.6%		
			D土日祝夜間	46.8%	49.4%	16.2%		

2 利用状況	（施設・設備ごと）	④アリーナ（定員36人）	A平日昼間	78.4%	67.7%	55.6%		※算出式（昼間）：利用面数／（利用可能面数：12面×営業日数） （夜間）：利用面数／（利用可能面数：4面×営業日数）
			B平日夜間	96.3%	87.8%	74.2%		
			C土日祝昼間	90.0%	81.3%	65.8%		
			D土日祝夜間	90.3%	81.7%	71.6%		
		⑤弓道場（定員37人）	A平日昼間	190.0%	190.4%	138.8%		※利用者数（昼夜問わず）/｛定員数：12人（近的9人、遠的3人）×営業日数｝
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		⑥武道場（定員38人）	A平日昼間	79.9%	74.4%	57.7%		※算出式（昼間）：利用面数／（利用可能面数：6面×営業日数） （夜間）：利用面数／（利用可能面数：2面×営業日数）
			B平日夜間	92.8%	89.6%	75.5%		
			C土日祝昼間	70.4%	64.7%	53.8%		
			D土日祝夜間	85.5%	72.9%	62.5%		

区分			H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		324	260	297		
	(3)運営日数		307	285	257	309	
	(4)運営人員	①正規職員	22.0	21.0	15.0	15.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	25.0	28.0	26.0	25.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R03当初予算額	備考
	①人件費	62,489,898	53,528,973	42,108,720	43,350,000	
	②印刷費	941,589	705,453	616,596	690,000	
	③通信費	805,573	936,743	919,304	730,000	

(1)運営コスト（A）	④事務用品、旅費、図書費など	685,436	753,623	225,227	230,000	
	⑤借上料	9,307,689	6,662,988	6,990,050	7,154,000	
	⑥保険料、消費税（租税公課）等	5,270,820	5,841,750	4,678,360	4,725,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	5,487,835	5,905,342	5,033,664	5,854,000	
	計	84,988,840	74,334,872	60,571,921	62,733,000	
	対前年度増減率		△ 12.5	△ 18.5	3.6	
区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R03当初予算額	備考
(2)施設コスト（B）	①管理委託費(外注費)	63,190,744	52,766,674	51,636,947	51,190,000	
	建物管理委託	21,710,000	20,552,400	18,684,000	18,684,000	
	プール・トレーニング室運営費	30,110,583	26,099,692	23,726,996	23,726,996	
	トレーニング機器保守委託	648,000	648,000	503,360	505,000	
	武道場畳敷・弓道場保守委託	604,422	687,290	336,218	360,000	
	プール水質管理委託	586,764	673,060	680,900	700,000	
	プール可動床保守点検	907,200	919,200	924,000	900,000	
	その他	8,623,775	3,187,032	6,781,473	6,314,004	
	②修繕費	2,314,926	2,714,987	1,339,492	1,200,000	
	③光熱水費	28,072,156	28,275,029	21,961,655	24,200,000	
	④燃料費	218,183	143,637	94,205	120,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	5,242,122	5,316,228	3,473,691	3,840,000	
	計	99,038,131	89,216,555	78,505,990	80,550,000	
	対前年度増減率		△ 9.9	△ 12.0	2.6	
(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）		184,026,971	163,551,427	139,077,911	143,283,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	46.2	45.5	43.6	43.8	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する	38,013,295	36,944,900	22,393,055		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	44.7	49.7	37.0		

Ⅲ　収支差額の状況　　注）【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　（単位：円）

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額　a）－b）				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　（単位：円）

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設利用料金収入	38,013,295	36,944,900	22,393,055	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（　a－トータルコスト）	△ 146,013,676	△ 126,606,527	△ 116,684,856	
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）	86,114,250	72,413,000	73,618,000	

(3)自主事業及びその他事業の状況　（単位：円）

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 自主事業の収入	101,902,824	110,349,012	100,446,574	
b) 自主事業の支出	72,797,243	79,312,460	76,632,145	
収支差額　a）－b）	29,105,581	31,036,552	23,814,429	
c) その他事業の収入	1,200	9,024,114	18,856,360	新型コロナウイルスに関連した補助及び助成金（雇用調整助成金等）、休館中営業補償
d) その他事業の支出	0	0	0	
収支差額　c）－d）	1,200	9,024,114	18,856,360	

Ⅳ　担当課による評価

（1）施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	【達成できていない点・主な課題】 【いつまでに、どのように対応するか】 ・地域のスポーツ拠点として定着するよう引き続きPR活動と施設の利用促進を図ること
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

（2）協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成　3点、8割達成　2点、6割達成　1点、6割以下の達成度　0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A　施設全体の満足度	90%以上	93.4%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・幅広い利用者層へのサービス展開、安心安全に利用できる施設運営 【いつまでに、どのように対応するか】 ・コロナ禍でできる施設の利用促進につながる事業を実施すること ・引き続き利用者が安心して利用できる感染症対策等を行うこと
B　サービス内容の満足度	90%以上	95.1%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・新しい生活様式を実践したうえでの利便性の向上 【いつまでに、どのように対応するか】 ・より利用しやすい施設となるよう実態に合わせて利用方法を見直すこと ・既存プログラムの見直しや協働による文化イベント等を企画すること
C　職員応対の満足度	90%以上	97.7%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・接遇 【いつまでに、どのように対応するか】 ・引き続き接遇研修を実施し、職員の資質向上に努めること
D　施設安全対策の満足度	90%以上	92.0%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・安全対策について職員の知識の向上、感染症対策への対応 【いつまでに、どのように対応するか】 ・ヒヤリハット事例の蓄積、災害対策マニュアル等の周知や防災訓練を実施すること。また、適切かつ柔軟な感染症対策を行うこと
E　美観・清潔感の満足度	90%以上	96.1%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・清掃 【いつまでに、どのように対応するか】 ・清掃マニュアルを周知し、日常清掃点検を強化すること
F　施設の利用者数	330440	204061	1	【達成できていない点・主な課題】 ・施設利用者数の増加 【いつまでに、どのように対応するか】 ・安心安全にスポーツができる機運を醸成し、既存プログラムを見直しするなど、施設の利用者数の目標を達成すること

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

（3）収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・収支の改善（黒字化） ・アフターコロナを見据えた新たな財源確保 【いつまでに、どのように対応するか】 ・事業計画に基づいた収益を上げられるよう、随時計画の見直しを行い、目標を達成すること
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額（赤字）が増えている。		

（4）安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・災害時における職員の対応手順の理解、感染症対策への対応 【いつまでに、どのように対応するか】 ・災害対策マニュアル等の周知や防災訓練を実施すること ・各種マニュアルを参考に、適切かつ柔軟な感染症対策を行うこと
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

（5）本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	【達成できていない点・主な課題】 ・中長期修繕計画 ・経営改善計画 【いつまでに、どのように対応するか】 ・中長期修繕計画を毎年更新すること ・経営改善計画を作成し、毎年見直しを行うこと
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

（6）総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・収支バランスの改善（黒字化）、施設利用者数の増加 【いつまでに、どのように対応するか】 ・利用者ニーズに応じた事業の実施や、アフターコロナを見据えた新たな収入を確保し、収支バランスの取れた経営に努めること ・新しい生活様式を実践しながらも利便性の向上を図ること
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	28	／33

Ⅴ　その他自由意見

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数や収入の大幅な減少により、収支差額のマイナスも想定される中、スタッフが力を合わせ、感染症対策を徹底し、増収策及び管理費削減の取組みを行ったことにより、良好な経営状況を確保した。